

特別支援教育って 何だ??



— 支援学校の授業って何するの？
どうやるの？ —

～ # 特別支援教育が特別じゃなくなる日を～



自己紹介

大阪府立西浦支援学校 中学部
樋井一宏（ひのい かずひろ）

教員歴：13年目

免許：中・高国語、特別支援学校

趣味：旅行・アウトドア

特別支援教育が特別じゃなくなる日を



今日の予定

- 1、特別支援教育って??
- 2、授業までの流れ
- 3、個別最適化（実践例）
- 4、まとめ # 特別支援教育が特別じゃなくなる日を

今日の予定

このスライド
覚えといて！！

1、特別支援教育って??

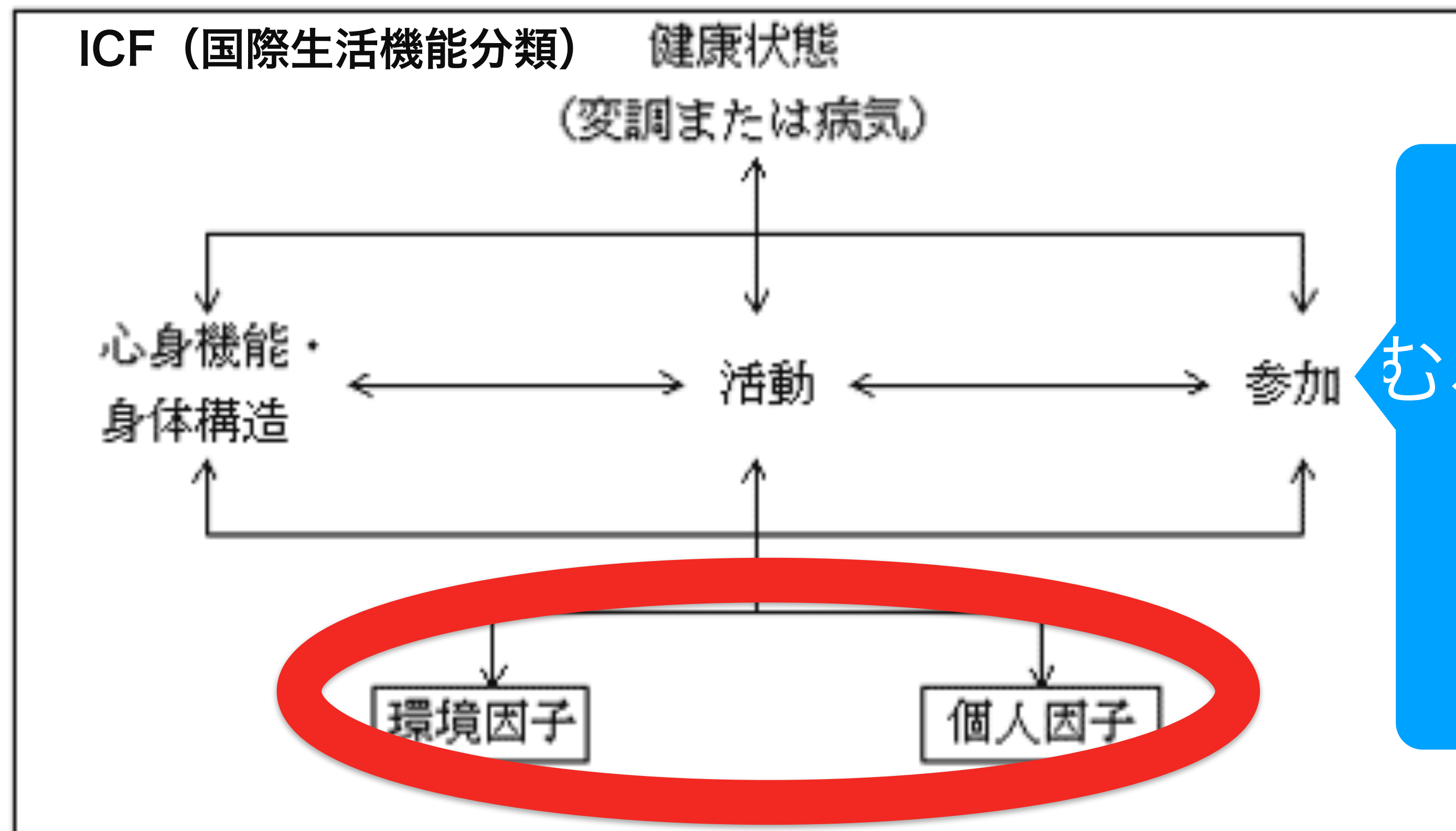
2、授業までの流れ

3、個別最適化（実践例）

4、まとめ # 特別支援教育が特別じゃなくなる日を

僕の立ち位置

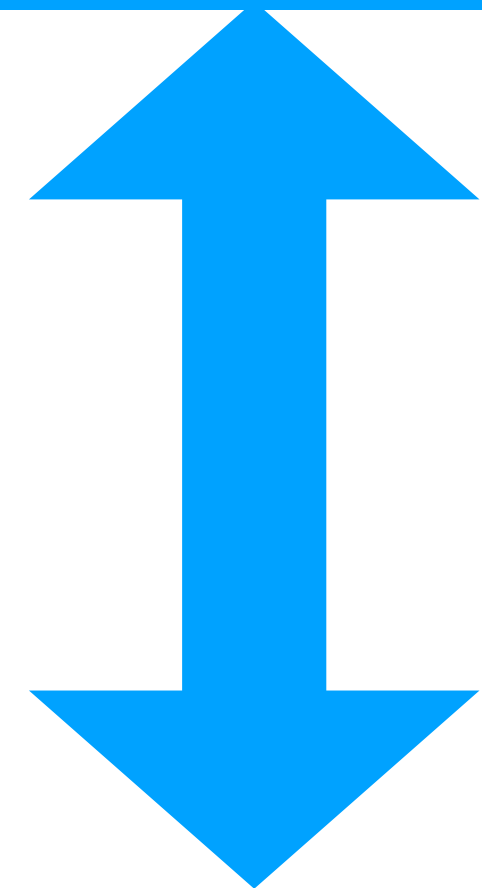
障害ってなんだ？



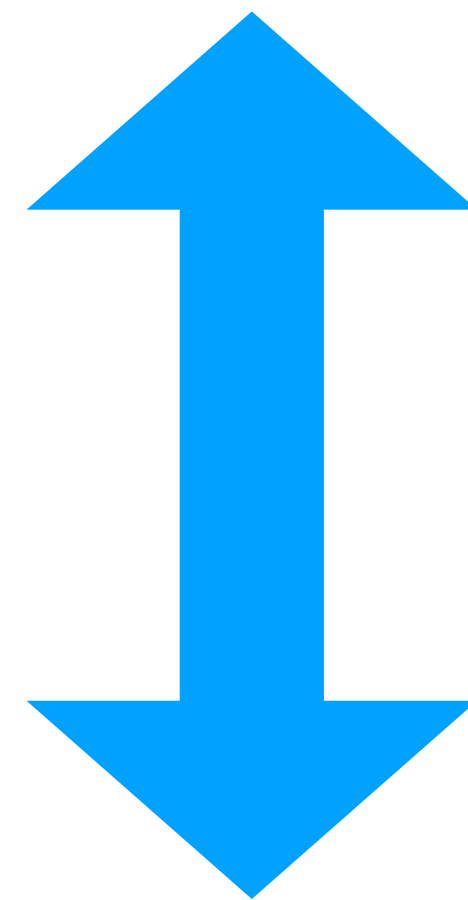
む、難しい・・・。
何のことやら

超個人的解釈

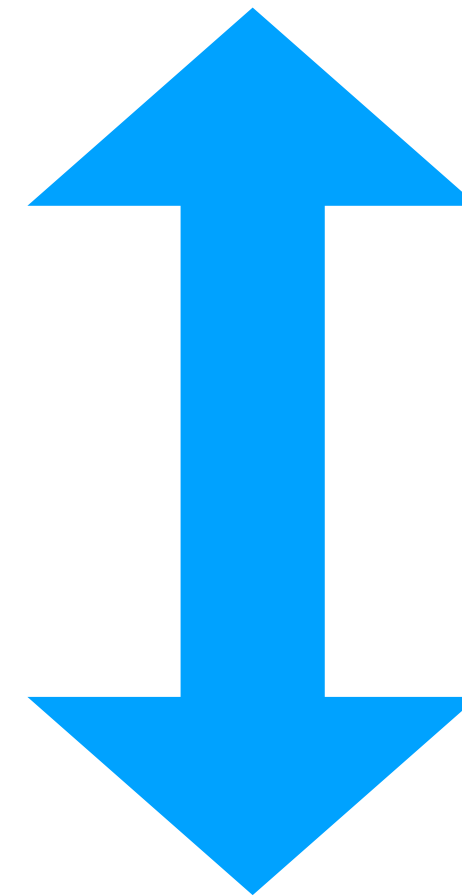
社会のデザイン→（マジョリティ）



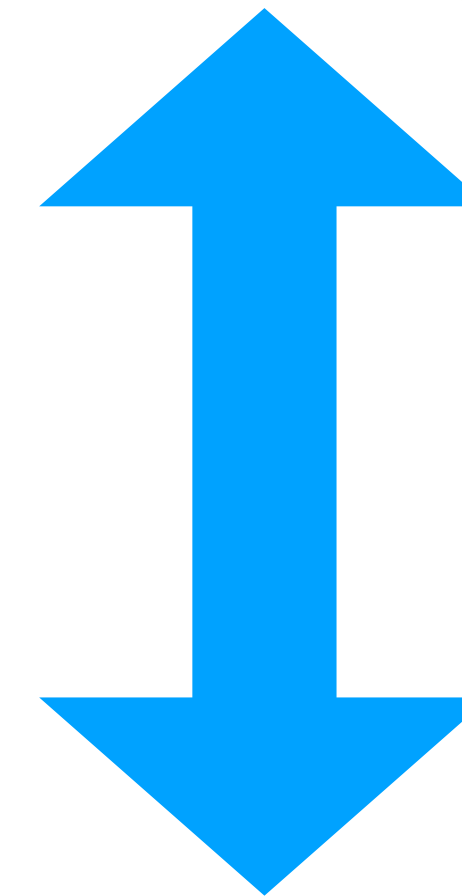
個人の力



個人の力



個人の力

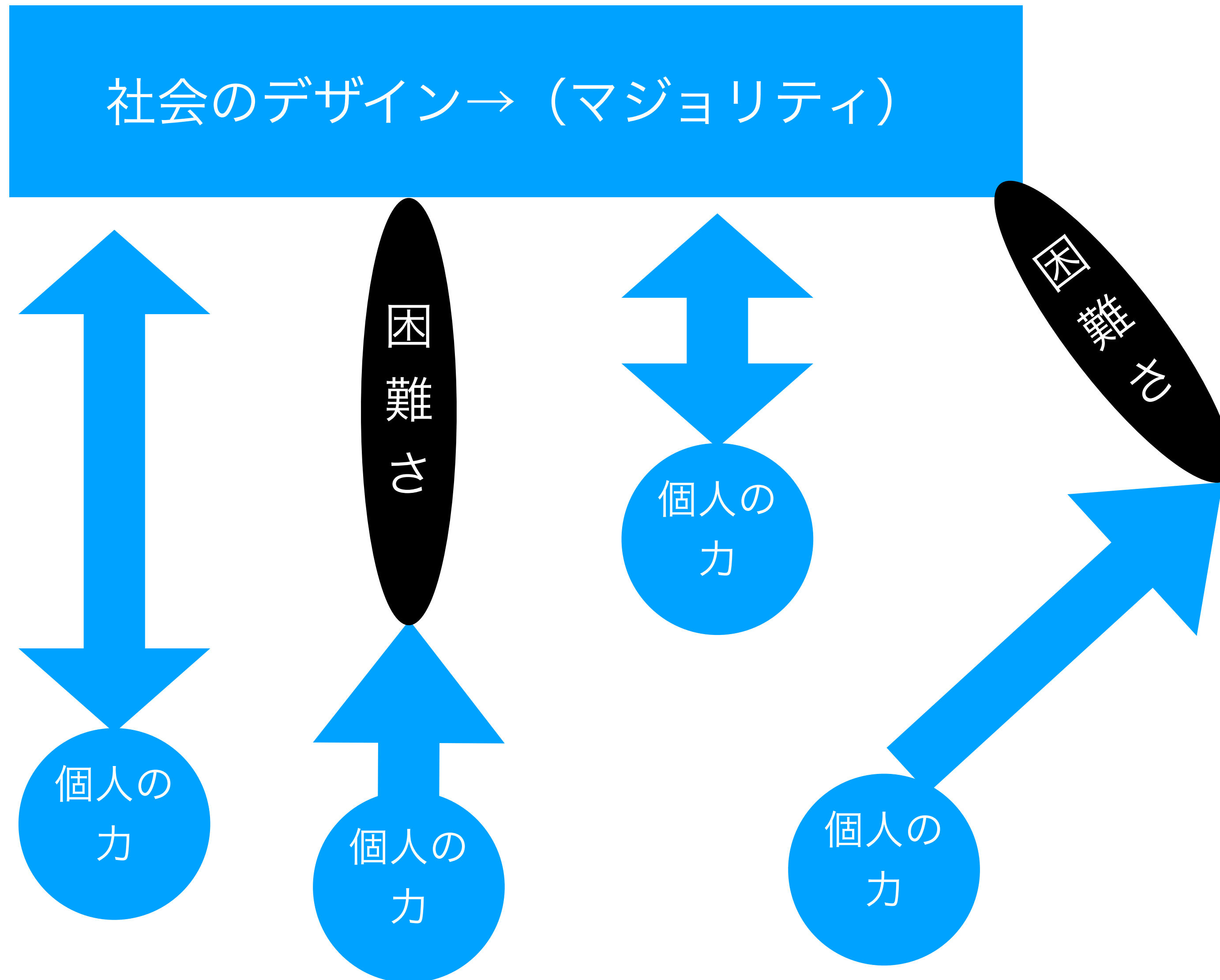


個人の力

多くの人が
使いやすい



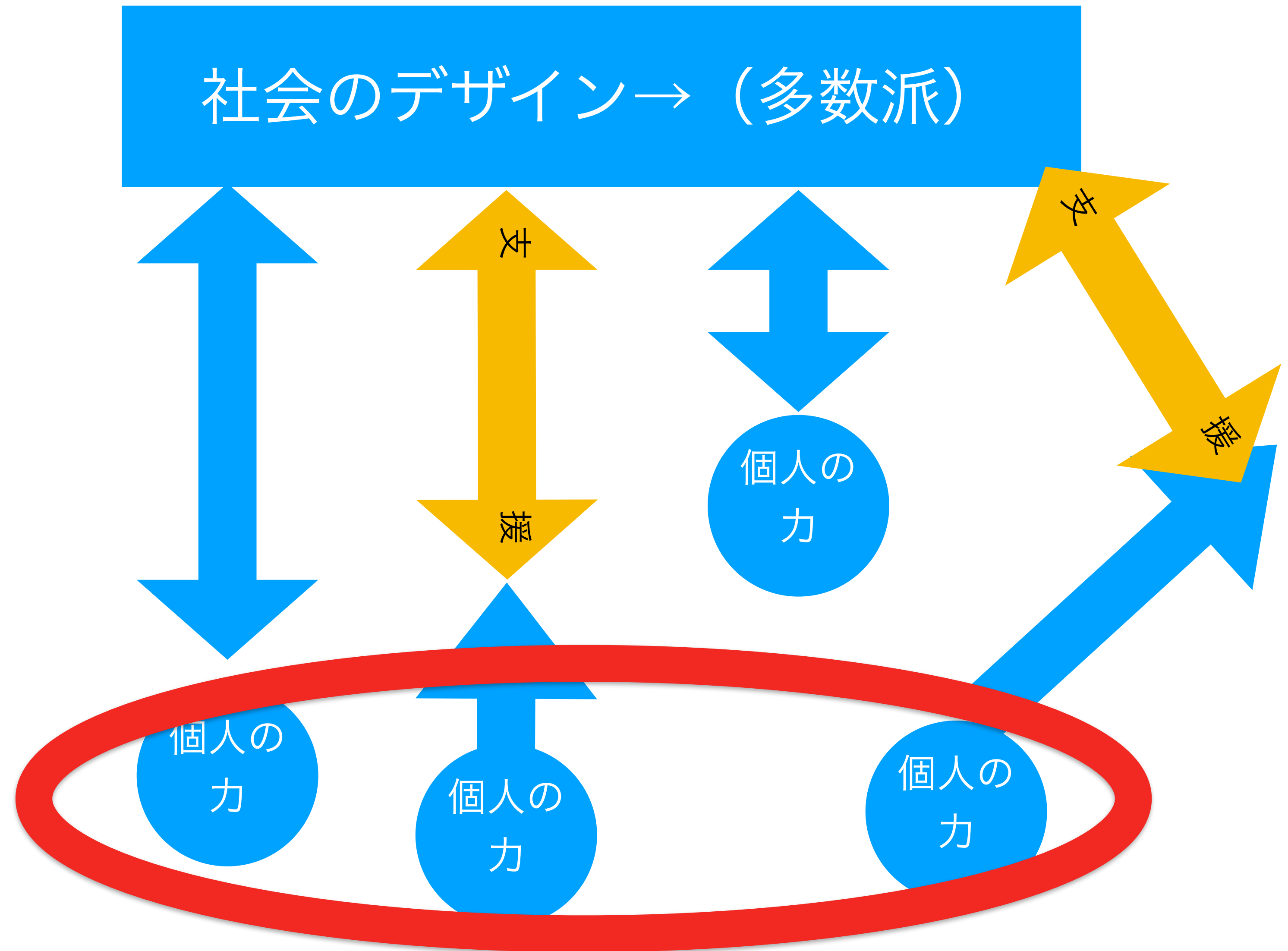
障害が生じるところ



じゃあどうするか？

個人の
気合いと努力ではない

社会のデザインに
アクセスできる方法を
考える



障が^がいい？

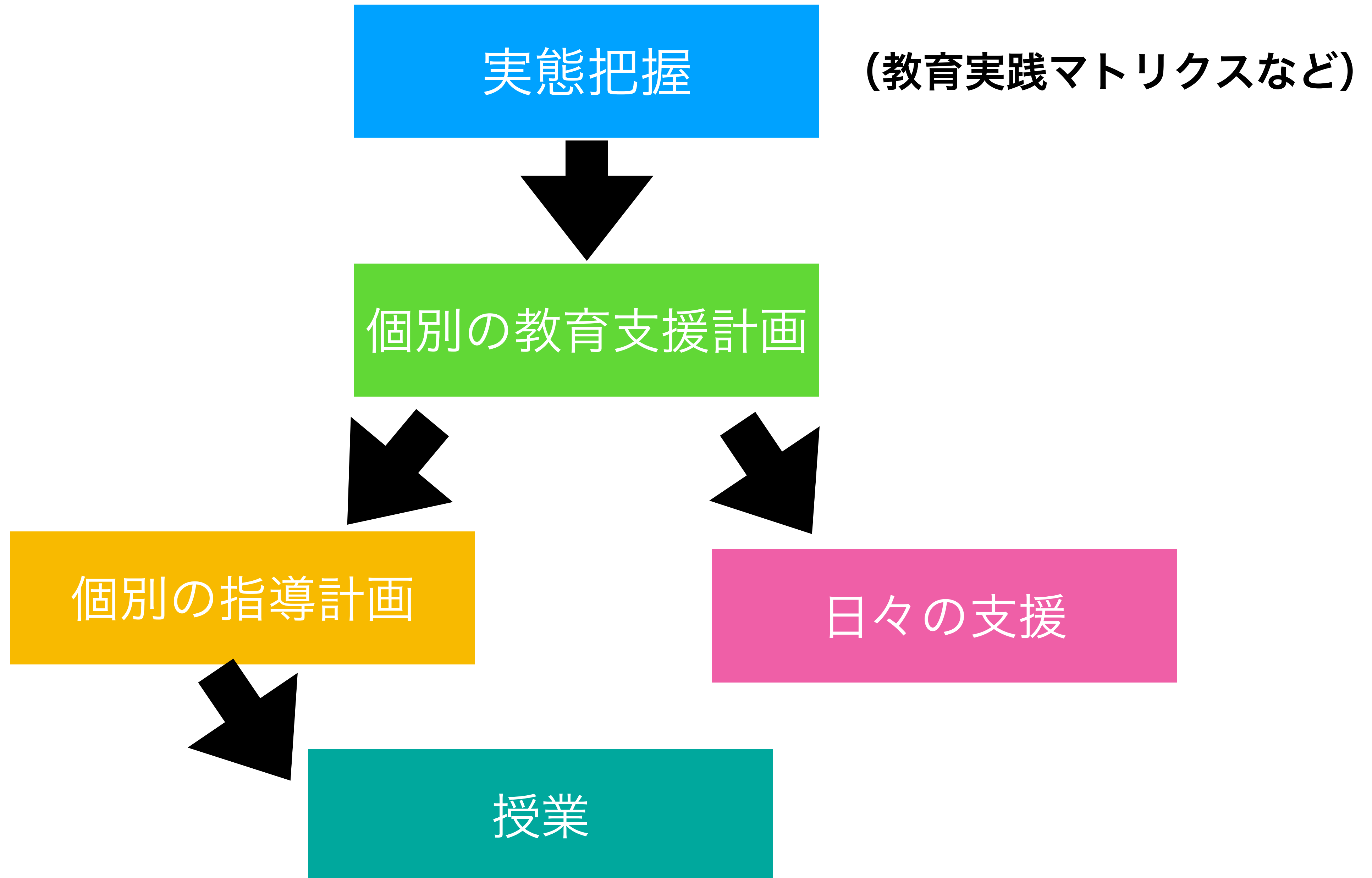
障害？

言葉狩りではなく、自分の意思表示

今日の予定

- 1、特別支援教育って??
- 2、授業までの流れ
- 3、個別最適化（実践例）
- 4、まとめ # 特別支援教育が特別じゃなくなる日を

授業までの流れ



実態把握

最も重要

子どもたちの様子をよく観察する

何を？

得意なことは？ ＊仮説

苦手なことは？ ＊仮説

どんな支援が必要？ ＊仮説

何をどう考えるか。

1、何に困っているか

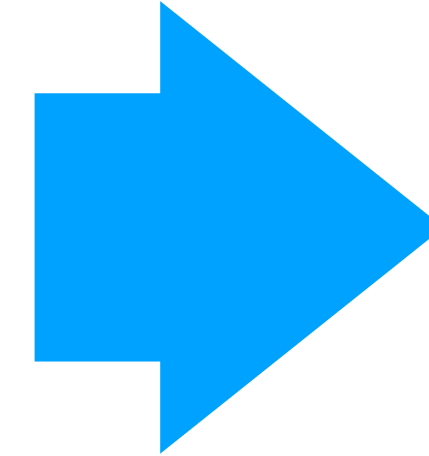
いつ？どんな時？

2、なぜか？

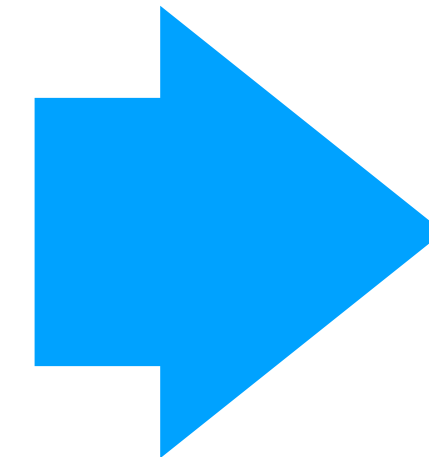
その子は
それをするとなん
いいことが？

3、どうすれば良いか？

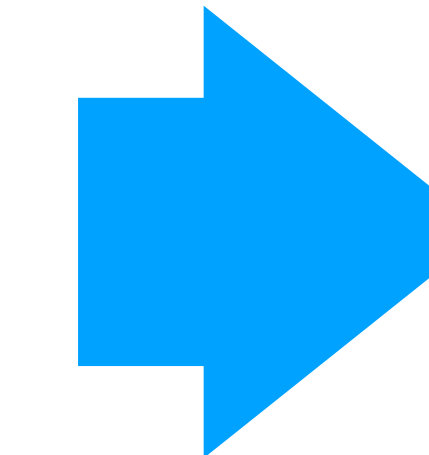
4、やってみよう！！



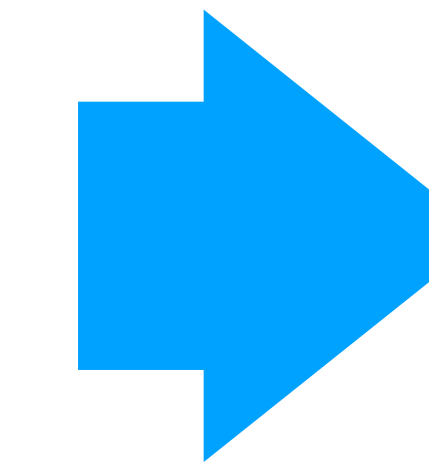
どうなって欲しいか



原因は
何が隠れてる？



支援の方法



実践

教育実践マトリクスについて



本校独自の
「実態把握」
「課題設定ツール」
「学びの記録」

小中高12年間で
身につけてほしい力の
「地図」

16の力（横軸）×12段階（縦軸）

に気をつける できる 体力づくりの 動（ランニン することがで	跳び箱、鉄棒、なわと び等）に合わせた活動 をすることができる □様々な模倣（体操、 ダンス等）をすること ができる	できる □あきらめずに最後まで がんばることができる	する □経験したものや事柄 を自分なりの表現で描 く	ルールやマナーを守っ て活動することができる □特定の教員（担任 等）がいなくてもルー ルを守って活動するこ とができる	使うこと □動植物 やさしい とがで
促して、食事 や食べ方に気 ことができる 足して、体力 のための運動 ング等）をす でできる	□簡単なルールのある ゲームができる □言葉かけ等で複数の 動き（走って跳ぶ等） を連続することができる □簡単な動作の模倣が できる	□周囲の応援等で、苦 手なことも頑張って活 動することができる □苦手なことにも短時 間向き合うことができ る	□音楽に合わせて手を たたいたり、踊ったり することを楽しむ □好きなものを自分な りの表現（みたと等） で描く	□学部や学校などの ルール（廊下を走らな い等）を守ることがで きる □小集団の中で活動す ることができる	□動植 ことを □野菜 みにし
いなく食べる できる 生活リズムを	□言葉かけや合図で基 本的な運動（歩く、走 る等）をすることがで きる □教員の動きを見て、 自分で体を動かす（体 操等）ことができる	□親しい友だち（クラ スメイト等）の中で落 ち着いて活動すること ができる □複数の教員（担任以 外等）と意思疎通がで きる	□自分で音を出した り、音楽（曲）にあわ せて体を揺らしたりし て楽しむ □絵を描くことに興味 をもつ	□学級や学年などの ルール（友だちを待 つ、集団に自分を合わ せる等）を守ることが できる □友だちの中で一緒に 活動することができる	□動（成 づく □季 化す
のそびを通し かし方を身	□立った状態で衣服や 靴の着脱等を一人で 行う □階段や坂道の上下 りを一人でやる	□特定の教員（担任 等）と一緒に活動する ことができる □特定の教員（担任 等）と意思疎通がで きる	□好きな植物や動物が ある □好きな音楽や絵等が ある	□日常生活に必要な決 まり（手洗いをする・ 歯みがきをする等）を 守ることができる □時間（始まりの時 間、終わりの時間等） を意識することができる	□い こ □を
のも自分で ができる がら食事を	□衣服や靴の着脱等を 少しの支援で行う □階段や坂道の上下 りを少しの支援で行う	□好きな音楽や遊具を 使った活動を、落ちて いることができる □自分が安心できる環 境（場所）で、しっか り活動することができる	□身近な植物や動物へ の興味を深める □絵（絵本）や音楽 （音）の楽しさ、おも しろさを感じる	□特定の教員（担任 等）との簡単な約束 （～ができたなら～をし よう等）を守ることが できる	□身 物の □教 りの物
し、夜に つける て、あそ	□衣服や靴の着脱等を 教員と一緒にやる □階段や坂道の上下 りを教員と一緒にやる	□好きな音楽やお気 にの遊具がある □好きな遊びがある □落ち着ける環境 （クールダウンできる 方法）がある	□教員の働きかけで身 近な植物や動物に興味 をもつ □絵（絵本）や音（音 楽）に興味をもつ	□教員と一緒に順番を 守ることができる □見通しがもてれば教 員と一緒に一定時間待 つことができる	□身 物の □教 りの物
のを中心 振ることが	□衣服や靴の着脱等を 教員と一緒にやる □階段や坂道の上下 りを教員と一緒にやる	□特定の音楽に反応 （微笑み、振り向きな ど）する □特定のもの（おも ちゃやえほん）に積極 的に取り組む	□身近な植物や動物に ふれる □絵（絵本）や音楽 （音）にふれる	□気持ちが安定してい るときには、教員と一 緒に一定時間待つこと ができる □サインで待つが分か り、行動を一時とめる ことができる □着席できる	□身 物の □教 りの物
眠ができる しっかり活動 にしっかり眠	□ものを指でつまむこ とができる（つかむ） とができる場所を一人で				
ことへの欲求					

学年ごとに塗る色を変えて、
変化を記録

必ずしも上のマスの目標を
狙うものではない

個別の教育支援計画

本人、保護者の願い

どんな未来をめざすか？

望む未来から逆算する

そのために必要な支援は？

3年後→1年後→半年後
目標

大阪府立西浦支援学校		〈様式A-4-1〉		
個別の教育支援計画 目標設定				
児童生徒名	0		担任	0
学部学年・組	0 年 0 組			
本人・保護者の希望や願い	卒業時・3年後につきたい力			
	教育実践マトリクス			
	該当する項目			
年間目標				
対応するマトリクスの内容				
自立活動の観点を含む配慮	支援の手立て及び配慮事項	支援の手立て 配慮事項		

大阪府立西浦支援学校 〈様式A-4-2〉

個別の教育支援計画 目標設定			
児童生徒名	0		担任
学部学年・組	0	0年0組	
本人・保護者の希望や願い	卒業時・3年後につけたい力	適切なコミュニケーションを取ることができる	
	教育実践マトリクス		
	該当する項目		
年間目標	自分の経験したことを伝えることができる		
対応するマトリクスの内容	<div>3年後→1年後→半年後</div>		
自立活動の観点を含む配慮	支援の手立て及び配慮事項	<div>目標</div> <div>タブレットまたは紙による筆談でコミュニケーションをとる</div> <div>発表は自席で行うなど発表の環境に配慮する。発表場面では筆談を活用する</div>	

前期目標	担任に筆談やジェスチャーで質問や気持ちを伝えることができる
前期の様子と課題	
後期目標	筆談等で伝えることができる相手を増やす
後期の様子と課題	
次年度年間目標	
対応するマトリクスの内容	

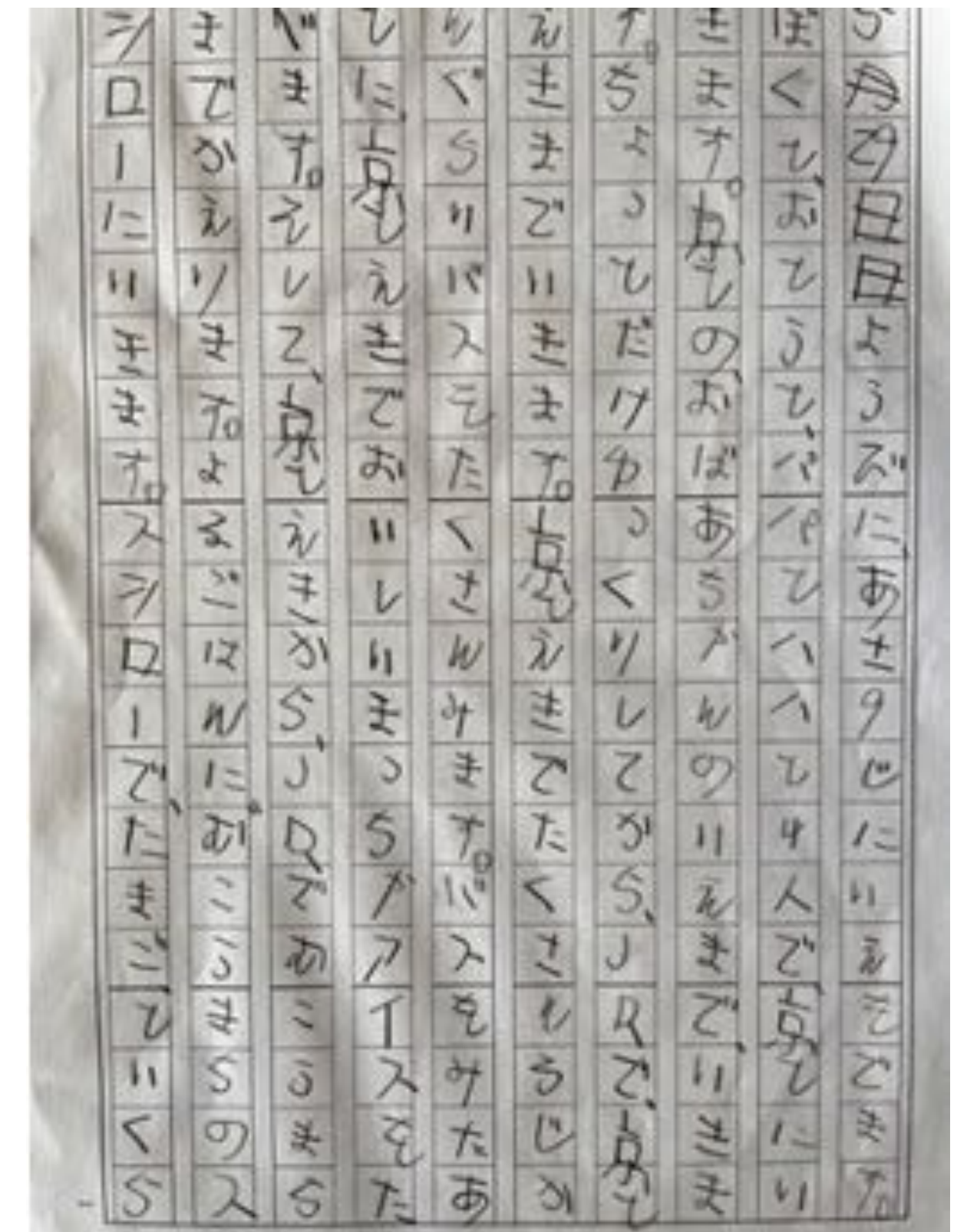
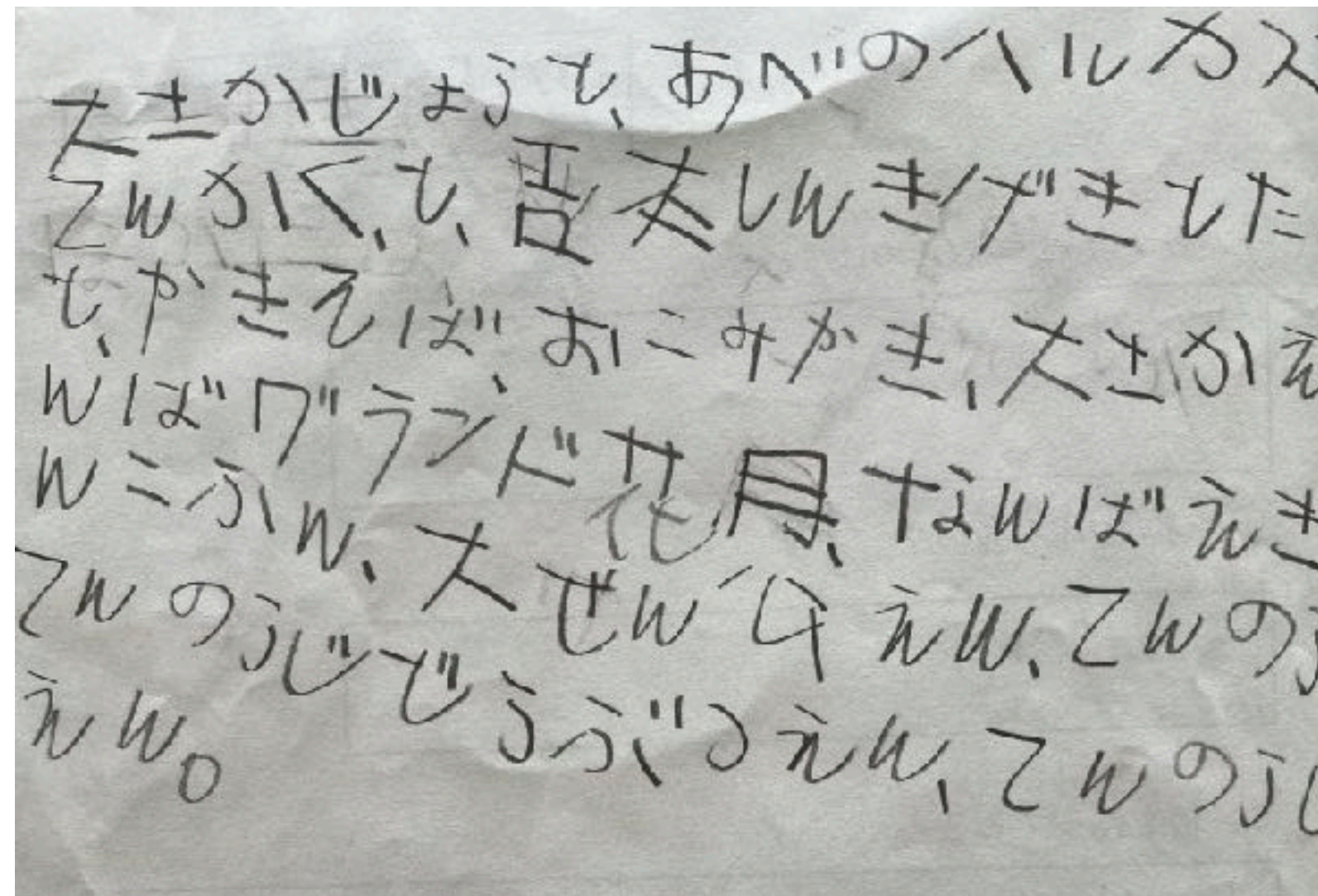
具体例

ノートに筆談でやり取り

授業ではタブレットも

可能性・選択肢を広げる

未来から逆算して



授業

* 2つの柱

教科の力

- ・ 各教科の学習内容
「国語」
「数学」
「社会」
「音楽」
など

← 教科を教える

教科で教える →

自立活動

- ・ 得意を活かし
苦手を補いよりよ
く生きる力
「指先の器用さ」
「コミュニケーション」
「精神的な安定」
など

授業でつけて欲しい力

教科の勉強＋自立活動

数学の授業

教科の勉強
「数の学習」

自立活動
「おはじきを
うつしかえる」

教科を教える

教科で教える

具体例

「10」の大きさ

教科の力

- ・ 10 という数の理解

自立活動

- ・ 指先の器用さ

(目でみて、ねらって指で
つまむ)

ビーズを卵パックにつまんで
うつす

* ビーズの大きさを変える
お箸でつまむ
目でみてわかる

個別の指導計画

1年間（前期・後期）各教科で

何を

どう学ぶか

（そのために必要な支援は？）

教科で学習すべき内容：ねらい

自立活動的な課題：教材教具の工夫

支援の手立て：学ぶための支援

個別の指導計画

支援計画の内容 各教科の指導計画に 連携させる

区番号 21104		学部 中学部		講座名 国語		グループ 4		段階 小学部3段階		担当者 樋井 一宏		8 読込ボタン		9 保存ボタン	
												指導計画のみ			
生徒 番号		学部		年 組		児童生徒名		年間目標		支援の手立て		シラバスのある教科 重点目標 ※プルダウン選択			
		中学部		2 組				・困ったときに、動作や言葉で伝えられるようになる。 ・授業の準備や移動を自分から行えるようになる。		支援の手立て ・周りへの支援が必要な時には、どのような言い方をすればよいかを伝える。返答の場面では、選択肢を提示し自分で選ぶことから、少しずつ自分で考えた意見を伝えられるように移行する。促しの言葉かけを減らし、できるだけ見守りの中で、自分で考える時間を設ける。 ・時間割を元に活動内容を事前に予告し、見通しが持てるようにする。		ア 出来事など話の大体を聞き取っている。			
		中学部		2 組				・日常の基本動作（手を洗う、歯をみがく、衣服を正しく着るなど）の重要性を理解し、正確に行う。		配慮事項 ・向上肢・体幹機能障害のため、ウォー		イ 絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えている。			
		中学部		2 組						・ある程度は本人の自主性にまかせ、しっかり見守る。服装の乱れが顕著なときや、手洗いや歯磨きが必要なのにあきらかに失念しているときには適宜言葉かけをして、好ましい生活習慣の大切さがわかるようにする。		ウ 絵本や易しい読み物などを読み、理解しようとしている。			
										支援の手立て ・クールダウンできる時間を確保し、教員		ア 出来事など話の大体を聞き取っている。			

	児童生徒名	0	文責者	0
【 国語・社会・外国語 】				
前期目標				
体育大会の思い出を作文にすることができる 近畿地方の都道府県について知る				
後期目標				
	単元	支援の方法	現れ・評価・課題	
前期	行事の作文 近畿地方 物語を楽しむ	文章を書く際にはタブレット端末を使用し、書字の負担を軽減する 意見を述べる時には事前に予告して見通しが持てるようにする。 必要に応じて、教員が聞き取るなどする。		
後期				

				児童生徒名				〇				文責者				〇			
【 数学・理科 】																			
前期目標																			
2桁の四則計算ができる 角や辺など図形の基本的な特徴について知る 植物の成長について知る																			
後期目標																			
	単元				支援の方法				現れ・評価・課題										
前期	四則計算 三角形・四角形 植物の観察				タブレット端末等 を使用し、書字の 負担を軽減する 考えを発表する時には事前に予告して 見通しが持てるようにする。 ノートに書いて教員が代読する														
後期																			



具体例

作文が苦手なんです
どうする？



実際には
何が苦手？

字を書くこと→タブレット

入力方法：ローマ字・かな・音声・フリック

たくさんの言葉を繋ぐこと→画像と組み合わせ

恥ずかしい→アバター



今日の予定

2、授業までの流れ

3、個別最適化（実践例）

4、まとめ # 特別支援教育が特別じゃなくなる日を

個別最適化

同じ目標、同じ学び方で良いの？

目的は「学ぶこと」

アクセスの方法はそれぞれ違って良い？

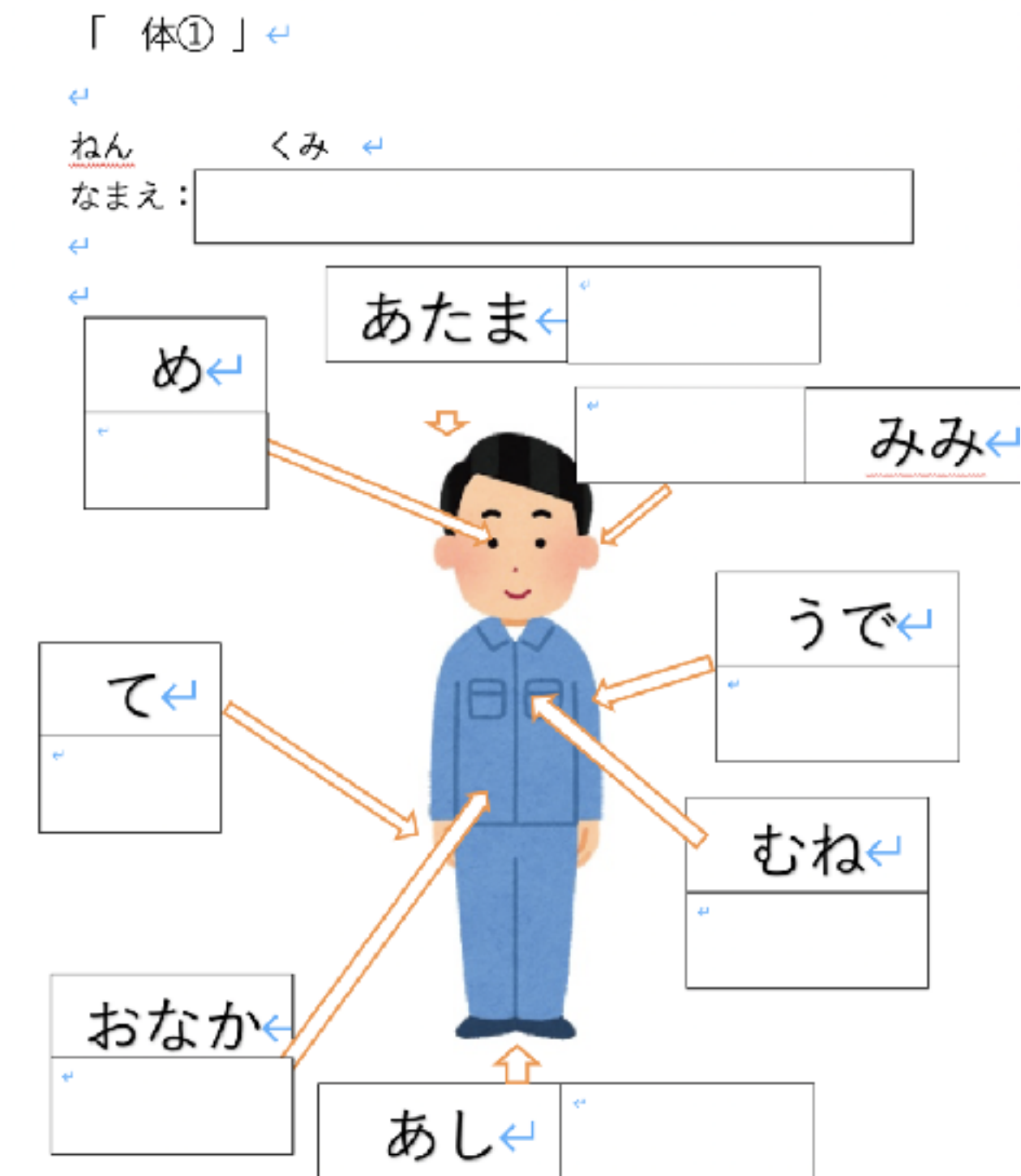
作文：経験を文章にまとめ伝える（目的）

紙と鉛筆、タブレット、録音、代筆（手段）

十人十色

同じ課題であっても
アクセスの方法は人それぞれ
スピードもそれぞれ

10人いれば
最大10通りのプリント



2枚のスライドを比べてね

障がい？

障害？

言葉狩りではなく、自分の意思表示

2枚のスライドを比べてね

障がい？

障害？

言葉狩りではなく、自分の意思表示

具体例

俳写を作る

- ・ アイデアは手書き

または

メモアプリ（50音、ローマ字、音声入力、手書き）

- ・ 作品はiPadでKeynote



具体例

人の視線が苦手。

でも、みんなと同じ課題に取り組みたい。

どうする？

実際には

座席の工夫

カーテンで囲う

＊みんなと違うのは嫌

→座席を一番後ろの端に

当たり前が変わる

作文は紙と鉛筆で

学校には毎日行かなければならない

調べ物は辞書・本を読んで

手を挙げて・大きな声で

など

学び方が変わる

文章をPCやタブレット・スマホで

調べ物はネットで

メディアリテラシーは必須

＊Wikipediaだけ？

苦手なことも気合いと根性？

補えるものは補って

好き・得意を活かす

社会の一員として

世界と無関係ではないという自覚
本物に触れたことがあるという経験
触れたからこそわかる

僕らが学ぶように学ぶ

苦手なことを知る。
アクセスの方法を知る

社会との関わり

- 「社会」って難しい
- ニュース「DropNews」



- 自分で情報を得る習慣
きっかけが必要。
新聞？TV？インターネット？
触れたことがあるって大切。
自分に合うものを自分で選ぶ



ICTができること・できないこと

時間・空間・場所・方法を
超えられる

重さや匂い、触覚などは・・・

デジタルVSアナログではない

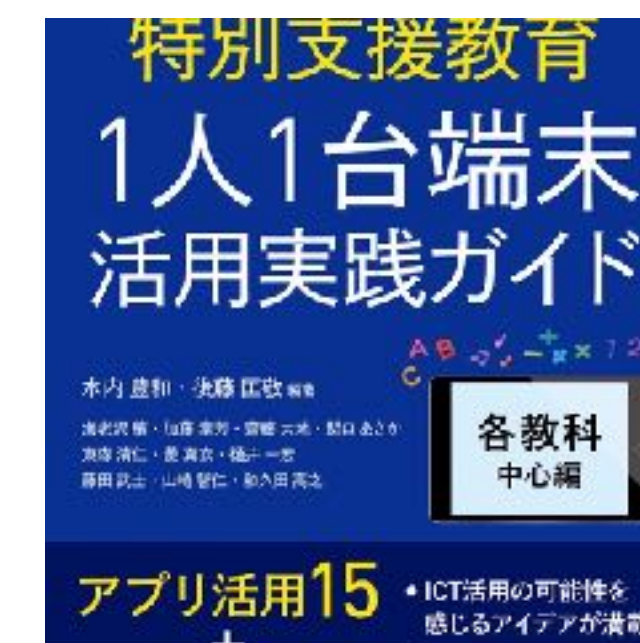
適切な方法で本質に迫る
なりふり構わず幸せになる

今興味があること

ICT機器で心身機能の拡張



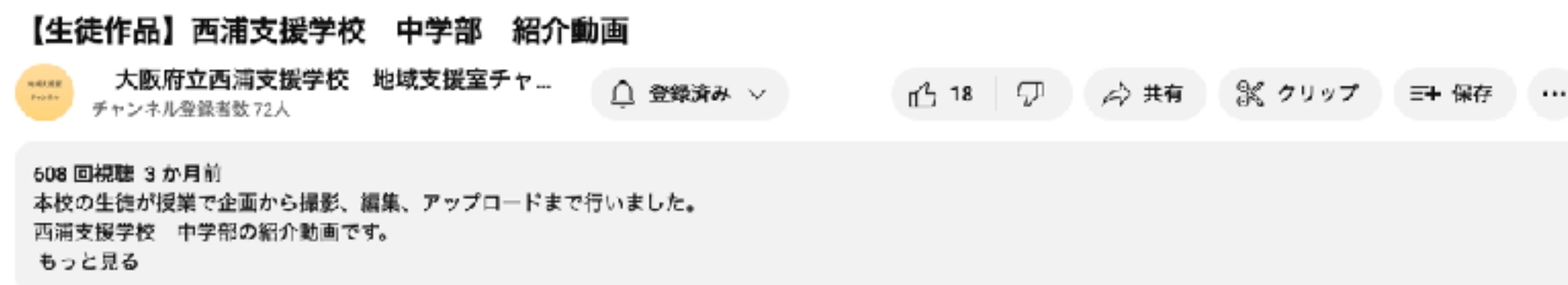
デジタル・シティズンシップ教育



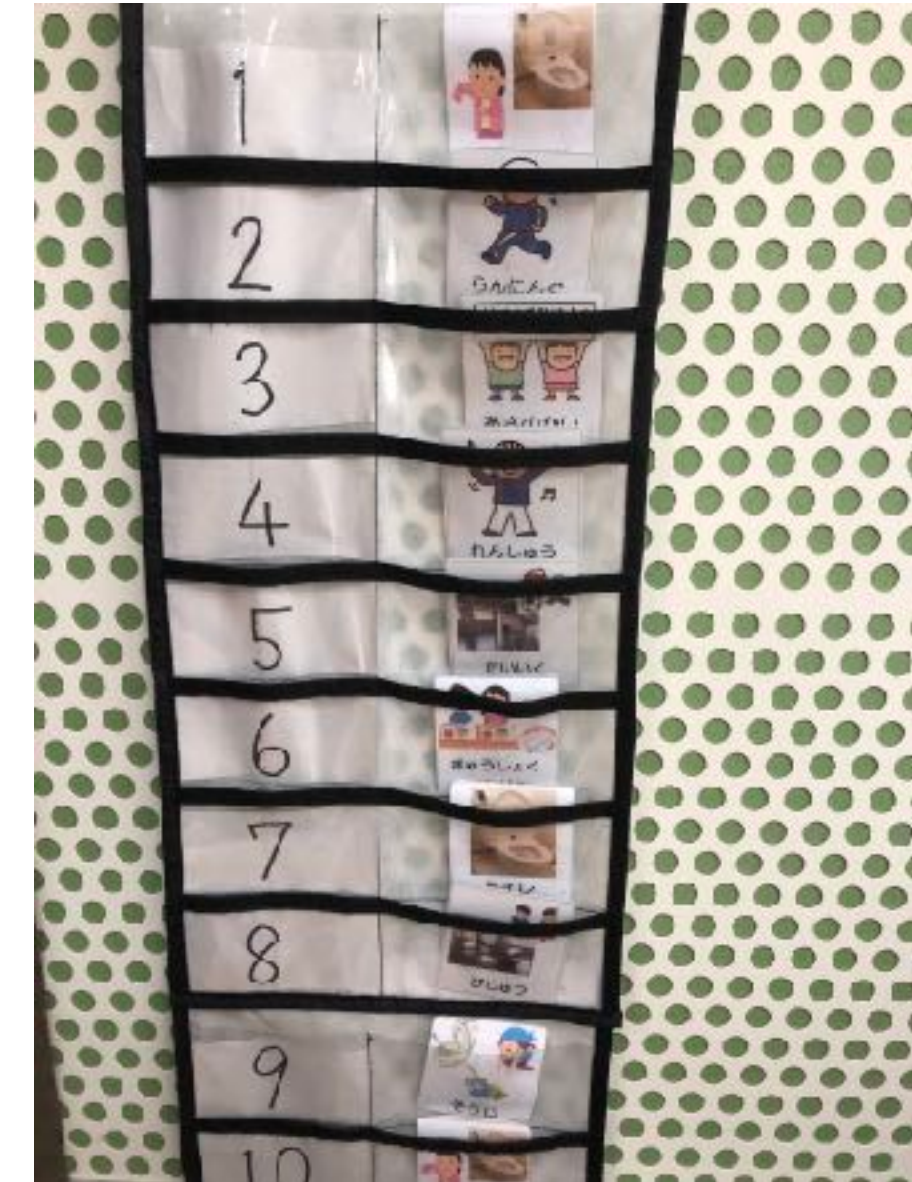
ICT機器による情報の受信と発信・クリエイティブ

特別支援教育って特別じゃなくて
最先端でかっこいい

子どもたちの作品



今日の予定



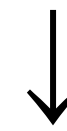
3、個別最適化（実践例）

4、まとめ # 特別支援教育が特別じゃなくなる日を

まとめ

特別支援教育：社会のデザインが原因で困っている人への橋渡し

こうしたら、少し楽になるかも。これなら、できるね。



困難さが減ったら、得意なことにもっと力を注げるね



**それって、幸せじゃない？
困ってるのは、支援学校の生徒だけ？？**

特別支援教育が特別じゃなくなる日を

特別支援教育：めっちゃ、楽しいで！！



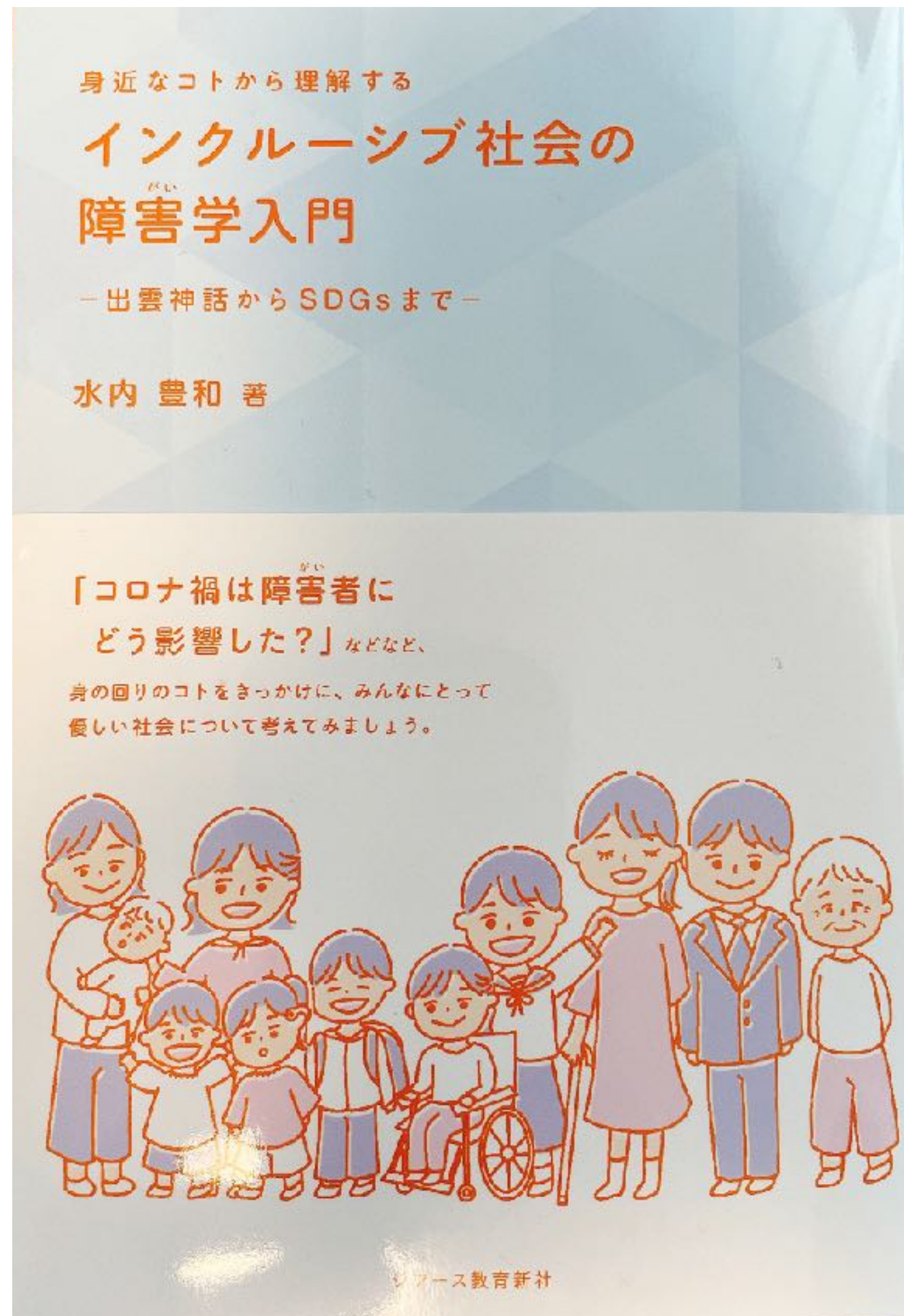
ありがとうございました



もっと 特別支援教育を知りたい人に

おまけ編

おすすめ 本



身近なコトから理解する

インクルーシブ社会の 障害学入門

— 出雲神話からSDGsまで —

水内 豊和 著

「コロナ禍は障害者に
どう影響した？」などなど、

身の回りのコトをきっかけに、みんなにとって
優しい社会について考えてみましょう。



ジアース教育新社

『身近なコトから理解する
インクルーシブ社会の障害学入門
— 出雲神話からSDGsまで —』
(ジアース教育新社)



これから 特別支援教育について学ぶ人にぜひ読んでほしい1冊

「カラオケ×障害」や「カレー×障害」など身近なコトから
障害やインクルーシブ社会について楽しく知って、
前向きに考えることのできる本。

ホームページ・YouTube

HP『ダッシュニンの特別支援教材室』

特別支援教育に関する教材や、研修資料、
役立つアプリなどを紹介



YouTube ダッシュニン チャンネル

「朝の会」

「特別支援教育×○○」をテーマに
ラジオ形式で配信



よければ使ってね・・・#特別支援教育が特別じゃなくなる日を

#特別支援教育が特別じゃなくなる日を

ダッシュニンHP

教材のダウンロード、アプリ紹介

いろいろプロジェクト

朝の会

ラジオ形式
毎週毎週月曜日 7:00 配信

ダッシュニンチャンネル

わわのわチャンネル

ダッシュニン

連絡先: dashin.kyozai@gmail.com

考えてみよう

あなたなら どうする？

課題

ここから、「大阪府立西浦支援学校」まで
公共交通機関を使った場合の
所要時間と費用は？

＊どんな手段を用いても良い

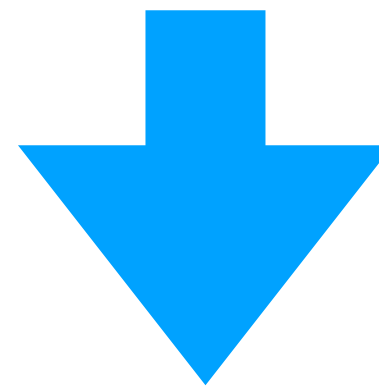
当たり前やけど・・・



スマホ使うよね

僕が知りたかったのは？

所要時間と金額



鉄道知識を知りたい

わけじゃないよね・・・

実際の授業でも

修学旅行の調べ学習で

い さき 行き先②		
ナガシマスパーランド		
でんしゃ 電車で行くと	3時間31分	3、930円
ある 歩いていくと	29分	
くるま 車でいくと	2時間1分	
ほんとう 本当は？	観光バス	

自分で調べてまとめる

具体例

保護者から相談!!

歯磨きができないんです…



実際の支援の例

ケース1
磨く場所を
指で刺激する



＊磨き方がわからない

ケース2
タイマーアプリで時間
を見える化する



＊継続すべき時間がわ
からない

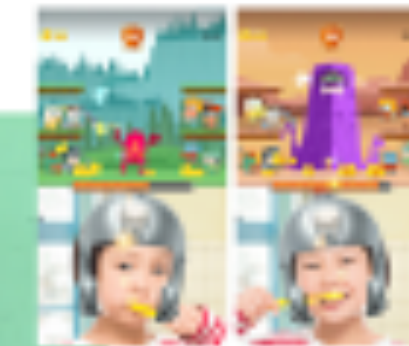


ねずみタイマー



絵カードタイマー

ケース3
はみがきが楽しくなる
アプリで意欲を高める



はみがき勇者

＊磨くことが面倒

同じ「はみがき」でも、課題は違う。→支援方法も変える→個別最適化する

手洗いの指導



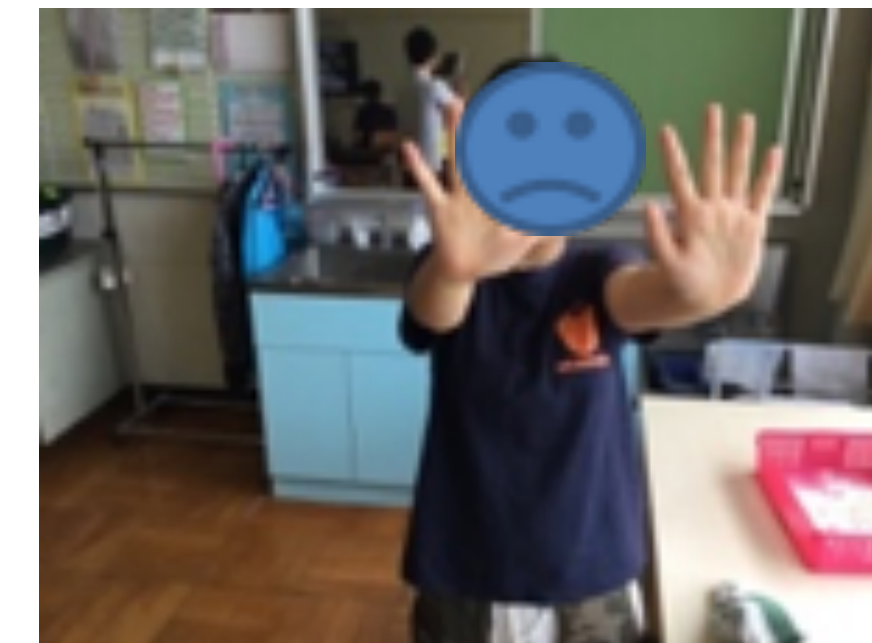
①手洗いの歌で動作の練習

②手に小麦粉をつける ＊写真を撮る

③手洗いを行う 写真を撮る

④手洗い前と手洗い後の写真を見比べる

⑤活動の様子を写真と動画でふりかえる



＊②～③ 1人ずつ行い、他の生徒はTVモニターで見る

「汚れた状態」と手洗い後の「きれいな状態」を写真で記録し、
見比べることで状態の変化を**見える化**した

具体例



騒がしいところが苦手。

でも、みんなと同じ課題に取り組みたい。どうする？

実際には

最初は教室に来てもらう

きつくなったら、先生と一緒に別室へ

別室で動画通話アプリで中継

教室に入れる時間は本人と相談

自分で選べる、決められる



具体例



身体機能的に喋るのが難しい生徒が学芸会で
セリフのたくさんある役に立候補。
どうする？

実際には

トーキングエイドという打ち込んだ文字を読み上げる機械を
使ってその場で入力してセリフを『言った』（8年前）



卒業式の別れの言葉（6年前）

読み上げアプリで

好きなアプリと一緒に選んで

廣瀬先生へのメッセージはホワイトボードに書いて